

第19回まちづくり市民会議議事録

- 日 時 平成22年11月18日（木） 午後6時30分～8時30分
■場 所 太田市役所10階 政策推進会議室
■出席者 西村会長、福田副会長、青木委員、秋山委員、窪田委員、新藤委員、
高倉委員、棚澤委員、塚田委員、徳永委員
前原係長代理、小川主任

（委員10名、市2名）

【概要】

1. 提言書の検討

- ・提言書（案）に対して各委員から出された主な意見は次のとおり。

◆表紙

- ・イラストについて、市民会議の会議風景を撮影した写真を掲載することとする。

◆目次

- ・2.参考資料について、「①まちづくり市民会議で使用した主な資料」「②太田市のイベント」「③太田市内指定文化財一覧表」「④太田市の観光振興計画・他の都市の管区振興計画」を掲載する。

◆1. イベント・市民参加・メディア

- ・キャッチコピー、サブキャッチについては、他のテーマに記載がないことから削除する。

- ・1-2 提言「①産業観光都市伝説プロジェクトの開設」について

- 「産業観光都市伝説プロジェクト」は意味が不明ため、用語の説明を掲載する。

- 「プロジェクト委員会」の「委員会」を削除する。

- 委員会・委員会協議会後のまとめ役から「銀行支店長」を削除する。

- ・1-2 提言「②太田市民参加の日を設定する」について

- 「一斉クリーンデー」は参加対象者が太田市民であり、観光テーマの事例にはならないのではないかと。

- ・1-2 提言「③フィルムコミッションをおたを開設」について

- 「太田市はありあまるほどの資源が眠っている。その多くがいまだ認識されていないのが現状である。」という表現について、本当にそうであるのか疑問である。本テーマの提言に限らず、提言全体が「太田市は観光資源に恵まれているが活用していない」という認識のもとで書かれているが、資源としては決して恵まれていないと思われる。恵まれていない資源を活用することの難しさを表現すべきではないかと。

◆2. 産業（農業・商業・工業・お土産・食文化）

- ・2-2 提言について

- 「新しい切り口」とはどのような切り口か、事例で表現する。

- ・ 2-3 具体的提言について
 - 「其の1 体験・体感・滞在型の観光農園」のように、先ず、提言したいことをタイトルで示し、その後に説明文を掲載する形式とする。
- ・ 2-3 具体的提言 其の1について
 - 「JA 太田市」の「太田市」を削除。
- ・ 2-3 具体的提言 其の3について
 - 「海なし市の開港に次いで漁港の開設を提案いたします。」は意味が分かりづらいので、「開港＝太田国際貨物ターミナル」として、事務局が書き直す。
- ◆ 3. 歴史（史跡・文化財）
 - ・ B 級であるが故に、観光資源としての難しさがあることを表現する必要があるのではないか。
 - ・ 3-1 現状と課題 「2 観光客の受け入れ環境はますます整っている」中の「天神山古墳」を削除。
- ◆ 4. 環境（緑、水、エネルギー）
 - ・ 4-1 「現状と課題」中の「バイオマスタウン構想」を削除。
 - ・ 4-2 「提言」中の「太田駅前広場」から「太田」を削除。
 - ・ 提言③として「太田市の計画・構想等の実行」を設ける。
- ◆ 5. まとめ
 - ・ 参考資料については、添付資料内の、2 参考資料④に位置づける。

3. その他

- ・ 12月9日（木）に会長・副会長・事務局で提言書に関する会議を開催する。
- ・ 次回の全体会議は12月16日（木）に開催する。
- ・ 各リーダーは、本日の会議内容を反映させた資料を、11月30日（火）までに事務局に提出する。